

**ゼンリンデータコムと NX 総合研究所が、
生産現場・物流現場における DX 活動支援サービスの提供を開始
～ ヒト・モノ・クルマの状態の可視化を実現し、生産性の改善を支援 ～**

株式会社ゼンリンデータコム(所在地:東京都港区、代表取締役社長:清水 辰彦、以下:ゼンリンデータコム)と、株式会社 NX 総合研究所(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長: 廣島 秀敏、以下: NX 総合研究所)は、ゼンリンデータコムが持つ屋内外高精度測位情報の活用技術と NX 総合研究所の倉庫作業分析ツール「ろじたん」を組み合わせることにより、物流センター内や工場内等の生産現場におけるヒト・モノ・クルマの状態の可視化を実現し、生産性を改善するためのサステナブルな取り組みを支援するサービスの提供を開始しました。

昨今、物流センター内や工場内の現場では、市場環境の急激な変化にも対応できるサプライチェーンの構築が求められています。その一方で、原料・資材・労働コストが高騰する中、生産・物流コストの低減を目指し、市場に対して魅力的な価格で商品を投入し続けることは企業の生命線であるともいえます。

また、測位技術を含むIoT製品が安価に入手できるようになったことで、生産現場の特殊な環境下においても、運営に欠かせない様々な情報収集が時系列に簡単に取得できるようになりました。

その結果、取得した情報を数値化・指標化し、これまで把握できなかった視点での改善活動を両社のノウハウ・技術を使って継続的に支援することが可能になりました。



ゼンリンデータコムの高精度測位技術による動線滞在エリア・停滞動作把握に加え、NX 総合研究所の「ろじたん」で取得可能なヒトの作業状態、投入工数、さらには、フォークリフト・リーチフォーク・運搬車のクルマの稼働状況・積載走行比率を把握することを組み合わせた総合的な情報可視化サービスの展開を推進いたします。

■今後の展開

生産・物流現場においては、生産機械・構内運搬装置等の様々な機器も存在します。これらの機器も準備/起動/稼働/段取替/メンテナンス/停止等の状況把握が必要で、ヒト・モノ・クルマとの共同作業により、高い生産性を生み出しているともいえます。

両社は、様々な情報が収集可能な IoT 機器を連動して、データを組み合わせることで生産性のボトルネックを可視化し、継続的な生産性改善につながるデータ分析可視化サービスを目指すとともに、生産改善・技術改善コンサルティングが可能なパートナーの募集も行い、幅広い領域でのサービス展開を目指します。

■ゼンリンデータコム の屋内管理ソリューション

https://www.zenrin-datacom.net/business/indoor_tracking/

■NX 総合研究所の倉庫作業分析ツール「ろじたん」

<https://www.logitan.jp/>

会社概要

会 社 名 : 株式会社ゼンリンデータコム (<https://www.zenrin-datacom.net/>)

本 社 : 東京都港区芝浦 3-1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 22 階

代 表 者 : 代表取締役社長 清水 辰彦

設 立 : 2000 年 4 月 13 日

資 本 金 : 2,283,010 千円 (2022 年 4 月 1 日現在)

事業内容 : ITS 事業 高精度な地図データを活用したテレマティクス事業の展開

ネットサービス事業 地図をベースとした法人向け付加価値情報サービスの提供

コンシューマー向け事業 「いつも NAVI」をメインとした、

地図・ナビゲーションサービスの提供

従業員数 : 391 名 (2022 年 4 月 1 日現在)